

ソフトウェア・シンポジウム 2018

日程：2018年6月6日(水)～8日(金)
 場所：かでの2・7
 主催：ソフトウェア技術者協会(SEA)



🐼 プログラム [6/6 (水) 1日目]

時間	内容	
12:30 13:00	<受付> ※1 受付場所：820 研修室 (8F)	
13:00 13:15	<オープニング> 実行委員長：本多 慶匡 (東京エレクトロニクス) プログラム委員長：安達 賢二 (HBA)	
	<形式手法> 司会：酒匂 寛 (デザイナーズデン)	<品質管理> 司会：大平 雅雄 (和歌山大学)
13:20 13:45	研 研究論文 アジリティのある探索的形式仕様記述のためのテストフレームワーク 小田 朋宏 (SRA)	研 研究論文 データ値の差異とデータフローの視覚化によるデバッグ補助手法の提案 神谷 年洋 (島根大学)
13:50 14:15	研 研究論文 SOFL 形式仕様に基づく C# プログラムのテストツール 網谷 拓海 (法政大学)	研 研究論文 不具合混入コミットの推定手法間での整合性比較と考察 北村 紗也加 (京都工芸繊維大学)
14:20 14:45	研 研究論文 ソースコードから CDFD への変換による SOFL 仕様記述の支援ツールの提案 新城 汐里 (法政大学)	研 研究論文 不具合誘発パラメータ組み合わせ特定三手法の比較評価 渡辺 大輝 (京都工芸繊維大学)
14:45 14:55	<休憩>	
	<チーム力向上> 司会：中森 博晃 (パナソニック スマートファクトリーソリューションズ)	<開発管理> 司会：天壽 聡介 (岡山県立大学)
14:55 15:20	経 経験論文 モデリングによる暗黙知分解とスキル補完への取り組み～共感と共創をつくり、人材不足解消と多能工を促進～ 三輪 東 (SCSK)	研 研究論文 バグ修正時間を考慮したソフトウェア最適リリース問題についての一考察 岡村 寛之 (広島大学)
15:25 15:50	経 経験論文 アジャイルの振り返りとシステム・シンキングの有効性について 日山 敦生 (緑ビジネスコーチ研究所)	研 研究論文 トピックモデリングに基づく開発者検索手法の構築へ向けて 福井 克法 (和歌山大学)
15:55 16:20	事 事例報告 結合・総合テストフェーズにおける継続的テスト設計の取り組み 山口 真, 豊田 圭一郎, 田辺 紘明 (SCSK)	経 経験論文 リスク構造化を用いたリスクマネジメント手法の提案と効果分析～「未来予想図」を用いたリスクマネジメント PDCA サイクル～ 水野 昇幸 (TOC/TOCfE 北海道)
16:20 16:40	Coffee Time 🐼	
16:40 17:40	キーノートスピーチ (1) 講演題目：北海道のおいしい時間 ～食のつくりびとの言葉 講演者：小西 由稀 (フードライター)	
18:30 20:30	情報交換会 ※2 会場：さっぽろテレビ塔 2F (18:15 開場)	

- ※1 オープニング以降の受付は、以下の場所となります。
 6/6(水) 820 研修室
 6/7(木) 12:30 まで：820 研修室, 14:00 以降：520 研修室
 6/8(金) 14:30 まで：520 研修室, 14:30 以降：大会議室
 ※事務局の栗田が不在で、お急ぎの場合は、070-6429-0240 にお電話ください。(この番号は会期中にしかつながりません)
- ※2 情報交換会は 18:15 に開場し、18:30 に“開始”します。お早めにお越しください。アクセスについては P.4 をご覧ください。
- ※3 2 日目, 3 日目はともに、8:55 に開場します。
- ※4 時間は各会場が利用できる時間帯を示しています。会議室は 21:00 まで利用可能で、終了時間は WG/TS 毎に異なります。各 WG の開催場所については P.3 をご覧ください。
 運営方法は WG ごとに異なります。詳細は各 WG のリーダーまでお問い合わせください。
- ※5 **ワーキング (レビュー)「WG からの報告」は、お申し込みいただいた WG と異なるグループに参加されてもかまいません。**

🐼 プログラム [6/7 (木) 2日目]

時間	内容	
	<個と組織の成長> ※3 5F 520 研修室 司会：米島 博司 (パフォーマンス・インブルーメント・アソシエイツ)	<要求工学> ※3 8F 820 研修室 司会：鈴木 正人 (北陸先端科学技術大学院大学)
09:00	研 研究論文 システム理論に基づくモデリングと質的研究を併用したソフトウェアプロセス教育の動機づけシナリオ開発 日下部 茂 (長崎県立大学)	研 研究論文 要求獲得のためのヒアリングにおけるゴール指向要求分析の活用～「ゴール指向 Lite」の提案～ 菅原 扶 (インテック)
09:25		
09:30	事 事例報告 現場に寄り添った教育が品質を支える～ディスカッション教育に込めた想い～ 渡辺 聡美 (富士通エフ・アイ・ピー)	事 事例報告 Applying PReP Model to a Service Development Process 木ノ内 浩二 (ウェザーニューズ)
09:55		
10:00	事 事例報告 勉強会を活用した組織成長モデル～活動 2 年目の成果と課題～ 伊藤 修司 (SCSK)	経 経験論文 要求記述のスキル不足に対する SRS 記述ガイドの有効性評価 不破 慎之介 (デンソークリエイト)
10:25		
10:25	<休憩>	
10:40	キートンスピーチ (2) 8F 820 研修室 講演題目：ファームノートの挑戦。Internet of Animals で切り拓くこれからの農業 講演者： 小林 晋也 (株式会社ファームノートホールディングス)	
11:40		
11:40	<休憩>	
11:50	<Future Presentation (1)> 5F 520 研修室 司会：本多 慶匡 (東京エレクトロン)	<Future Presentation (2)> 8F 820 研修室 司会：安達 賢二 (HBA)
11:50	問題提起：提案依頼書 (RFP) に含まれる「無理難題」を話題にして 神谷 芳樹 (みたに先端研)	システム思考のモデリングはこれからのソフトウェアプロセスに有効か？ 日下部 茂 (長崎県立大学)
12:40		
12:40	<昼食>	
14:00	<ワーキンググループ・チュートリアル> ※4	
14:00	研 研究論文 (14:15-14:40) 9F 930 研修室 ソフトウェア不具合予測への画像分類手法の適用 廣瀬 早都希 (京都工芸繊維大学)	
	※こちらの研究論文は、「WG14(XS)：ソフトウェア開発の現状と今後の発展に向けたディスカッション」の中での発表となります。	
	5F 520 研修室 WG1(EF) : 未来に活躍できるソフトウェアエンジニア 9F 910 会議室 WG2(FM) : 形式仕様言語を用いたモデリング 5F 520 研修室 WG3(HG) : 開発をもっと楽しく！ゲーミフィケーションを使った開発ハック 5F 520 研修室 WG4(ME) : Software Maintenance and Evolution, 現場に笑顔と「ありがとう」をもっと！ 5F 520 研修室 WG5(OP) : 「組織パターン」を使って組織運営を振り返る 5F 540 会議室 WG6(OS) : OSSのこれまで、いま、これから 5F 520 研修室 WG8(PS) : 新サービス創出のための Model Based アプローチ 5F 520 研修室 WG9(PR) : 要求技術者の責任と社会システムの狭間 5F 520 研修室 WG10(SA) : きちんと動くモデルカーを作ってみよう 6F 620 会議室 WG11(SC) : ソーシャルコーディングとソフトウェア進化 7F 750 研修室 WG12(ST) : システム思考アプローチでモデリングをやってみた 7F 740 研修室 WG13(TS) : エンジニアのトリセツ 2 ～寿命 100 年時代：70 才まで現役で働けますか？～ 9F 930 研修室 WG14(XS) : ソフトウェア開発の現状と今後の発展に向けたディスカッション 6F 610 会議室 TS1(SM) : ソフトウェア技術者のためのマルウェア入門 10F 1020 会議室 TS2(TT) : 人と人、チームとチームを繋ぐコーディネーターになろう！	
	※ 会議室は 21:00 まで利用可能です。	
	※ WG リーダの方へ 13:55 以降に 520 研修室に鍵を取りにきてください。 18:15 までに 520 研修室に鍵を返しにきてください。 (18:00 以降も延長する場合は、当日は 520 研修室にいる栗田か本多か三輪にお知らせください。)	
18:00		

🐼 プログラム [6/8 (金) 3日目]

時間	内容
	<ワーキンググループ・チュートリアル> ※3, ※4
09:00	<p>※ 各 WG と TS の部屋は、2 日目と同じになります。</p> <p>※ WG リーダの方へ 8:55 以降に 520 研修室に鍵を取りにきてください。 14:45 までに 大会議室に鍵を返しにきてください。</p>
12:00	
12:00 13:30	<休憩>
13:30	<p>WG からの報告 (レビュー) 各 WG の部屋</p> <p>ソフトウェアシンポジウムでは、興味深いワーキングが毎年開催されておりますが、自身が参加したもの以外はその内容を知ることが困難です。通常行われる最後の報告の全体セッションは時間の制約もあり、かならずしも躍動感のある議論の内容を肌身で感じることができません。そこで、2 日間のワーキングに参加された以外の方も 2 日間の議論の最後のまとめの時間帯に参加できれば、ソフトウェアシンポジウム参加者にとって、有益な情報を得るチャンスが増え、ソフトウェアシンポジウムに参加した意義がより増加するのではと考え、本年度は実施報告を聞くワーキング (レビュー) のセッションを設けました。</p> <p>※ワーキング (レビュー) 「WG からの報告」は、お申し込みいただいた WG と異なるグループに参加されてもかまいません。</p>
14:30	
14:30 14:50	<p>Coffee Time 🐼 4F 大会議室</p>
14:50	<p>キーノートスピーチ (3) 4F 大会議室</p> <p>講演題目：日本初の民間宇宙ロケット MOMO のアピオニクス開発 講演者：森岡 澄夫 (インターステラテクノロジズ株式会社)</p>
15:50	
15:50	<p>クロージング 4F 大会議室</p> <p>実行委員長： 中野 秀男 (帝塚山学院大学) 本多 慶匡 (東京エレクトロン)</p> <p>プログラム委員長： 落水 浩一郎 (University of Information Technology, Myanmar) 安達 賢二 (HBA)</p>
16:15	

🐼 会場案内

かでの 2.7



会場：さっぽろテレビ塔
住所：札幌市中央区大通西一丁目

開場：18:15 ~ 開始：18:30 ~



※ 情報交換会は 18:15 に開場し、18:30 より “開始” します。お早めにお越しください。
※ 名札の着用をお願いいたします。

その他

最新情報

最新情報について

SS2018 の最新情報は、随時 Web ページに掲載いたします。公式ページの「新着情報」をご覧ください。
<http://sea.jp/ss2018/news.html>



MEMO